

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	鼻内内視鏡手術における病変へのアプローチ方法及び粘膜フラップの有用性の検討		
1. 研究の目的と方法	鼻腔腫瘍や副鼻腔嚢胞疾患に対して、我々が行った鼻内アプローチ方法の検討を行う。なお、術後に血流のある鼻腔粘膜フラップを用いることで、鼻内の生理的機能の保持ができるか検討を行う。 鼻腔腫瘍、頭蓋底病変、副咽頭間隙病変、Rouvière リンパ節病変および副鼻腔嚢胞などに対して行われた内視鏡下経鼻・経口手術における各種アプローチ方法の有用性について検討を行う。また、術後に血流を有する粘膜フラップを使用することで、創傷治癒促進や副鼻腔開存性維持などの効果が得られるかについて検討を行う。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	鼻腔腫瘍、頭蓋底腫瘍、副咽頭間隙病変、Rouvière リンパ節病変、慢性副鼻腔炎、副鼻腔嚢胞、慢性前頭洞炎の患者さんで、2007 年 4 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に附属病院、柏病院にて手術加療を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、既往歴、術前症状、内視鏡所見、CT 画像、MRI 画像、病理組織診断、手術アプローチ方法、使用した粘膜フラップの種類、手術時間、出血量、病変到達の可否、病変切除達成度、病変完全摘出の可否、術中・術後合併症の有無、術後の副鼻腔開存性、骨増生の有無、鼻腔内痂皮付着、流涙などの機能障害、鼻中隔穿孔、鼻腔乾燥感、嗅覚障害、顔面知覚障害、開口障害、嚥下障害等	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室
		氏名	大村和弘
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究		

	を実施する 施設とその 責任者	獨協医科大学 埼玉医療センター 助教 青木聡（機関の長：田 中康広）
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付、セキュリティのかかったクラウド上にアップロード 試料・情報の利用または提供予定開始日：2016 年 2 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座 研究責任者：講師 大村 和弘（おおむら かずひろ） 窓口担当者：講師 大村 和弘（おおむら かずひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3601） 機関名：東京慈恵会医科大学 附属柏病院 耳鼻咽喉科 研究責任者：助教 柳 徳浩（やなぎ のりひろ） 窓口担当者：助教 柳 徳浩（やなぎ のりひろ） 電話番号：0471-64-1111（内線 2183） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。